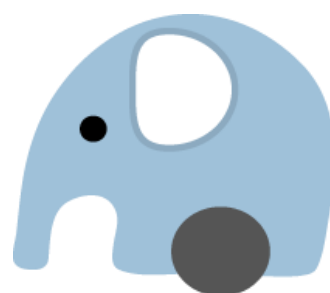


# 参 考 资 料



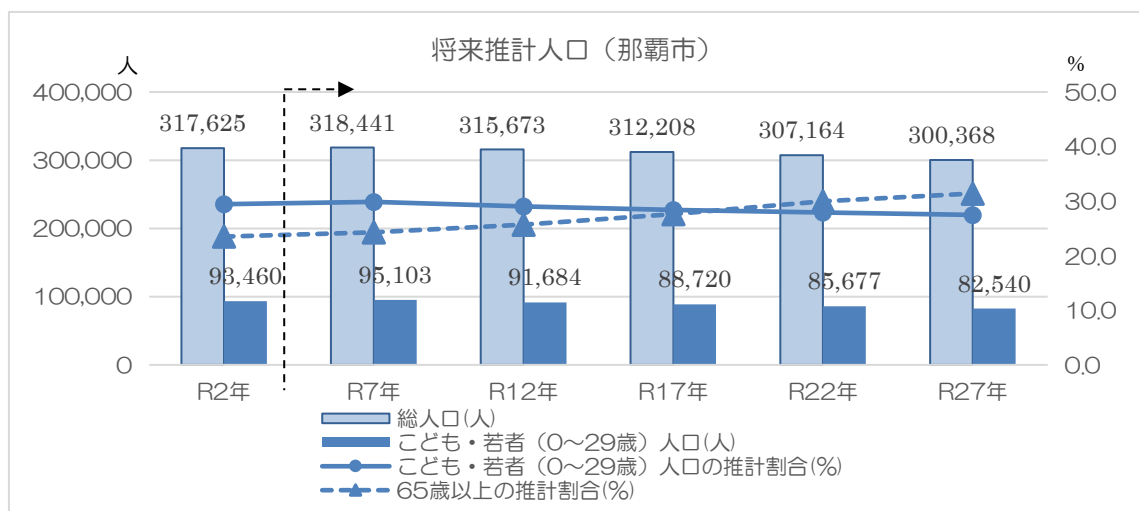
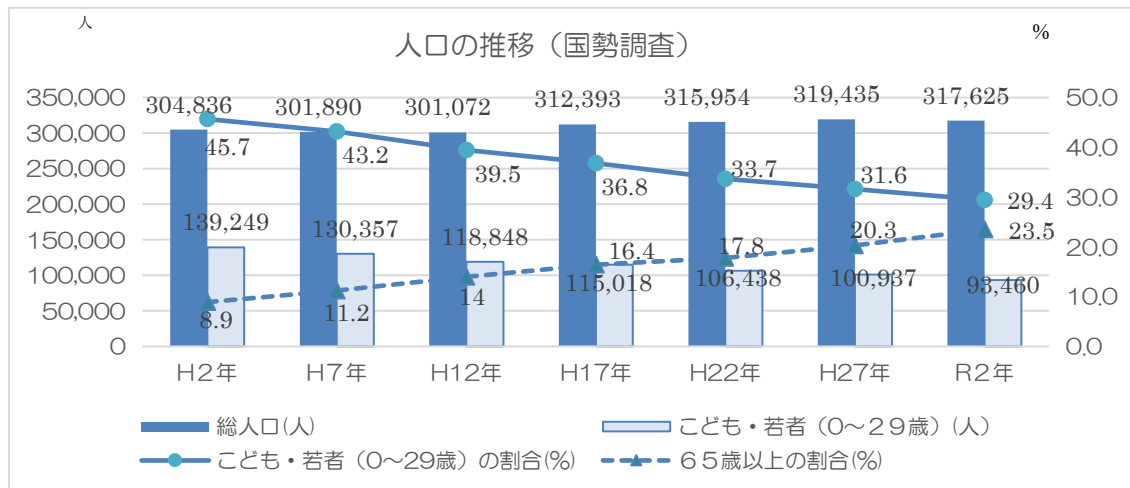
# 参考資料

## 1. 本市の母子等を取り巻く状況（統計データ）

### （1）人口、世帯の動向

#### ①人口の推移(市)

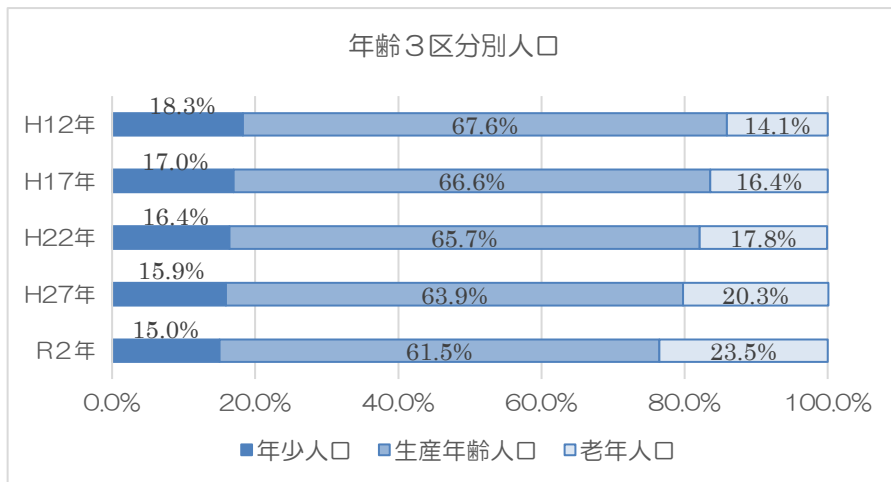
国勢調査においては、平成 17 年度以降 31 万人を超えており、令和 2 年の本市の人口は、317,625 人となっております。その中で、全人口に占める 29 歳以下の子ども・若者の人口と割合は減少傾向となっております。将来推計人口は、令和 7 年にピークを迎え、その後は減少することが推計されており、子ども・若者の人口は、今後も減少を続ける一方で 65 歳以上の人口は、増加傾向にあり、少子高齢化がさらに進んでいく見込みです。



出典：令和 2 年は国勢調査、令和 7 年からは国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年推計）

## ②年齢3区分別人口(市)

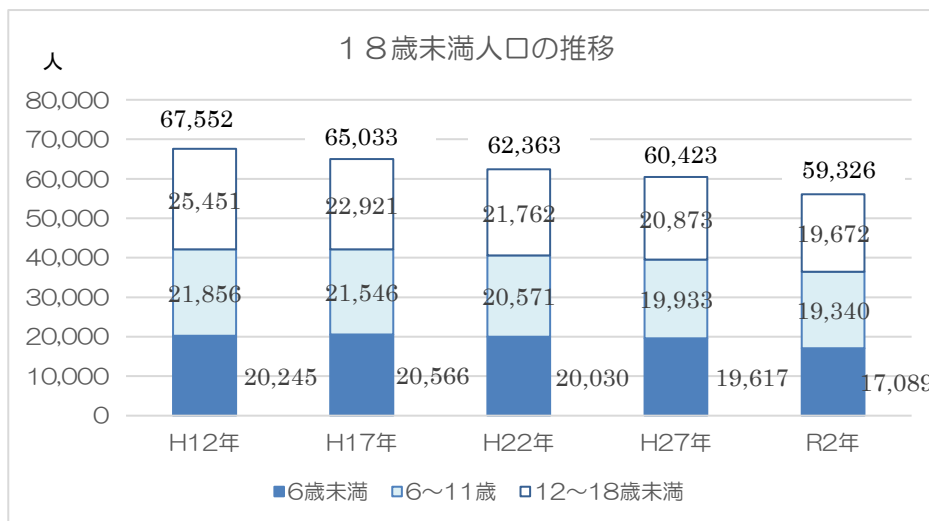
本市の年少人口、生産年齢人口は年々減少していますが、老年人口は増加しています。



出典：那覇市統計書（国勢調査）

## ③18歳未満人口の推移(市)

18歳未満人口は、令和2年には59,326人となっており、年々減少しています。平成12年と比較しても約8千人少ない状況になっています。



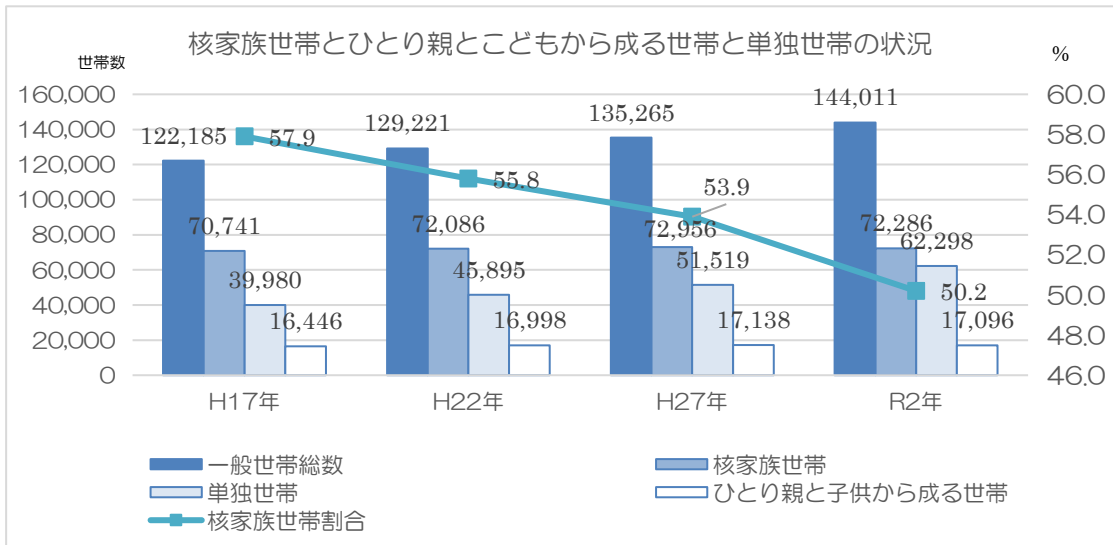
出典：那覇市統計書（国勢調査）

#### ④世帯の推移(市)

本市の一般世帯は、平成 17 年以降、増加しており、令和 2 年には 144,011 世帯となっています。

核家族世帯数とひとり親と子どもから成る世帯数は、平成 27 年まで増加していましたが、令和 2 年は減少に転じており、同年の世帯総数に占める核家族世帯の割合は、50.2%、ひとり親と子どもから成る世帯は、17,096 世帯で 11.9%となっています。

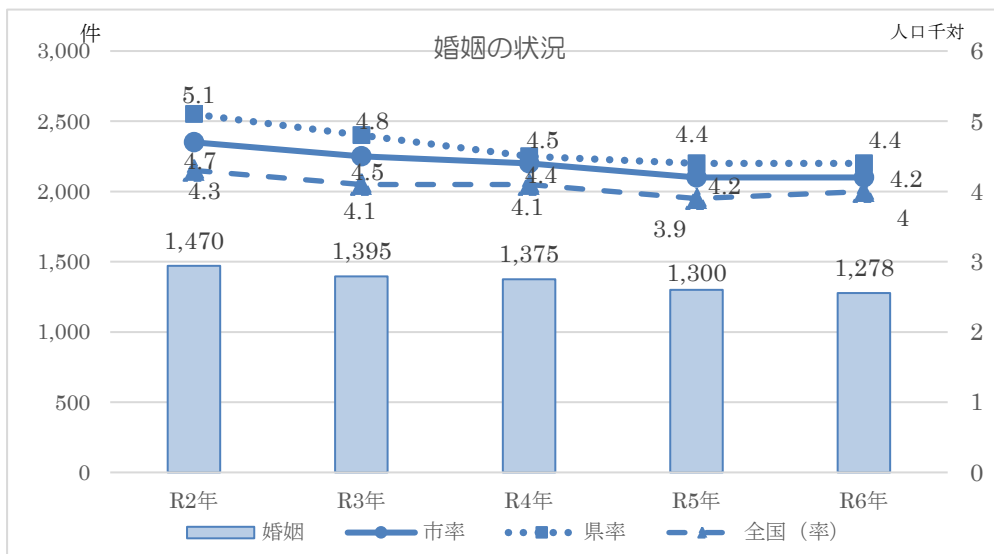
単独世帯数及び世帯割合は、増加が続いています。



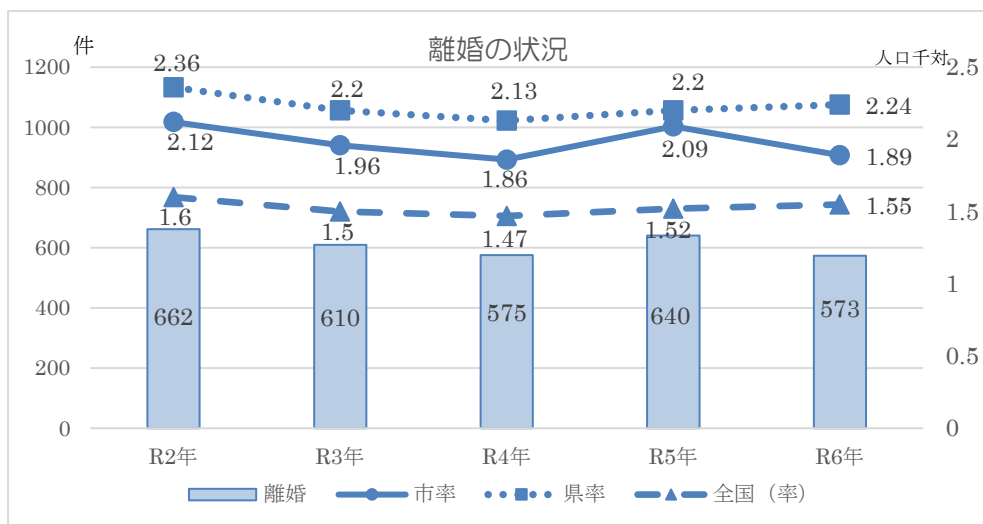
出典：那覇市統計書（国勢調査）

#### ⑤婚姻・離婚の状況

婚姻率は令和 6 年 4.2 となっています。平成 30 年以降、増減をしながら低下していますが、国と比較すると高い状況にあります。離婚率も減少しておりますが、国よりも高くなっています。



出典：人口動態統計、沖縄県福祉保健部

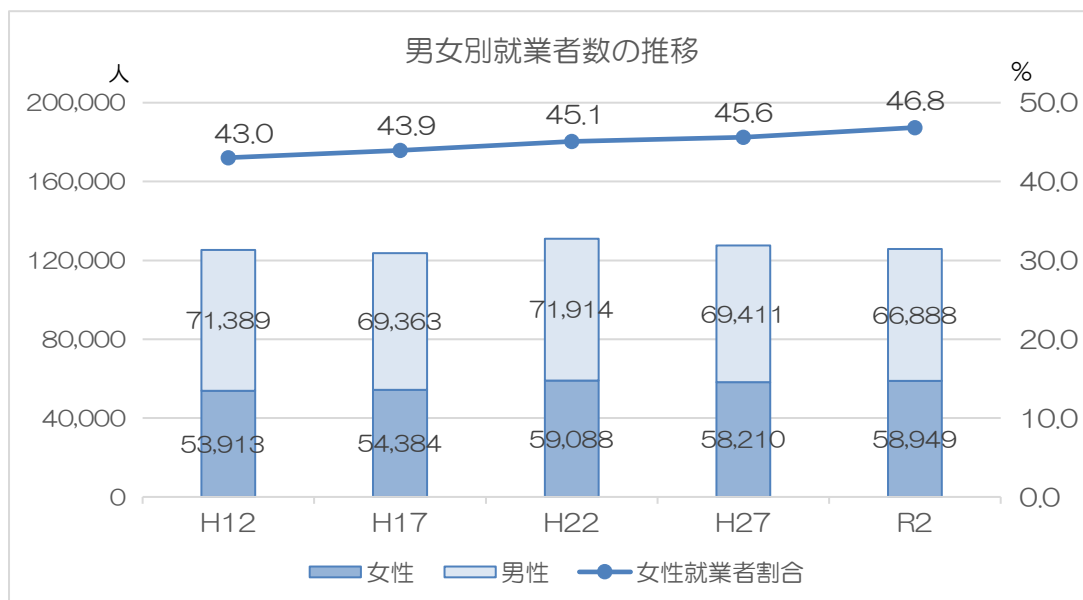


出典：人口動態統計、沖縄県福祉保健部

## (2) 産業および就業状況

### ①男女別就業者数の推移(市)

女性の就業者数は、令和2年で58,949人と、平成12年に比べ約5千人の増加が見られました。また、総就業者のうち女性の占める割合は、年々増加傾向にあり、令和2年で46.8%と、半数に近い割合となっています。



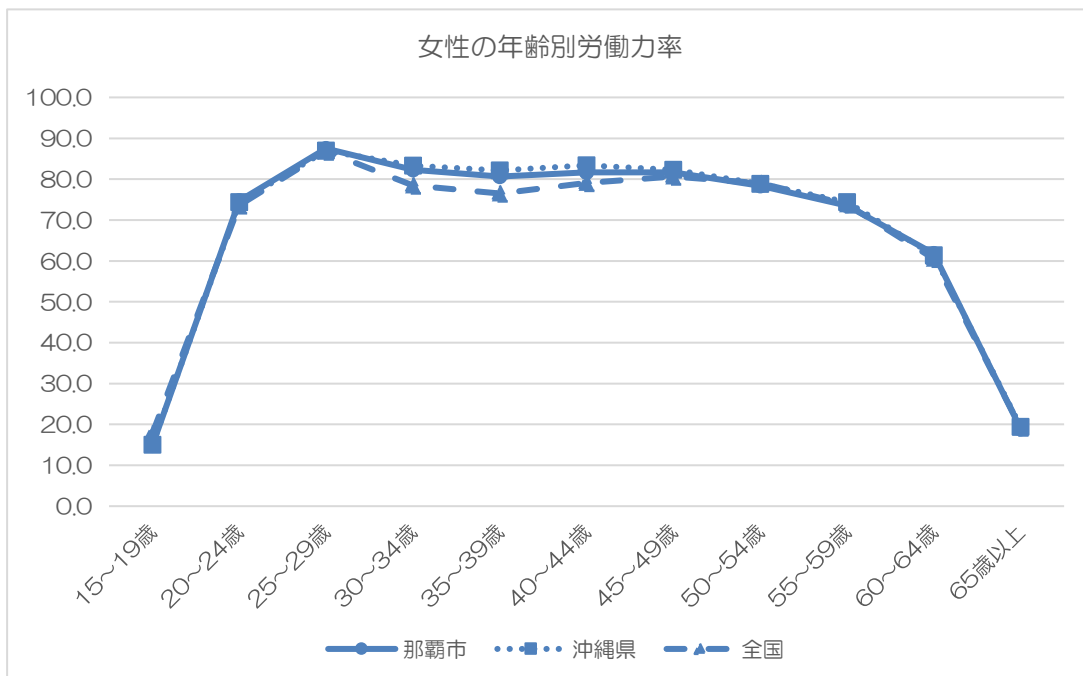
出典：那覇市統計書（国勢調査）

## ②女性の年齢別労働力率

本市の女性の年齢別労働力率は、25～29歳が87.5%で最も高くなっています。また、沖縄県や全国と同水準となっています。その後、結婚・出産期にあたる30代に一旦低下し、育児が落ち着いた40代でわずかに上昇し、Mカーブは全国に比べ、浅い状況にあります。

	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65歳 以上
那覇市	14.9	74.7	87.5	82.3	80.6	81.6	81.6	78.4	73.5	61.8	18.9
沖縄県	15.0	74.4	87.0	83.3	82.2	83.4	82.3	78.8	74.4	61.4	19.4
全国	17.8	73.6	86.8	78.4	76.5	79.1	80.7	79.0	73.9	60.5	19.3

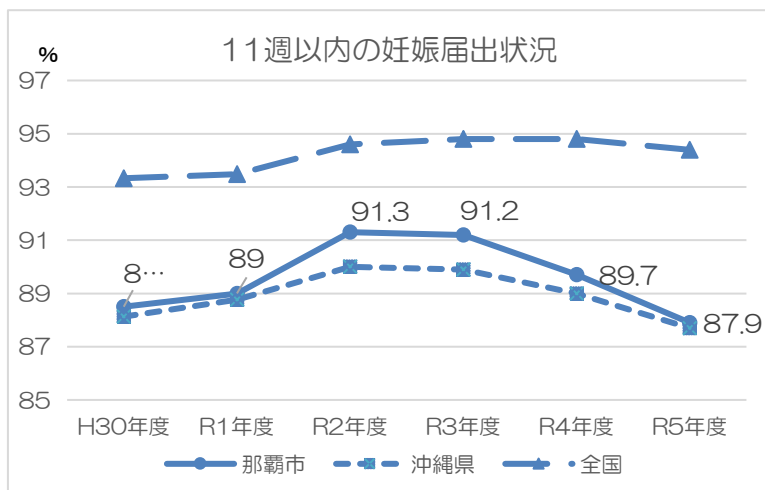
出典：令和2年国勢調査 / 就業状態等基本集計（主な内容：労働力状態、就業者の産業・職業、教育など）



### (3) 母子保健の現状

#### ① 11週以内の妊娠届出状況

令和2年度に11週以内の妊娠届出状況は91.3%まで増加傾向でしたが、令和5年度には87.9%まで減少しており、全国と比較して6.5ポイント下回っています。



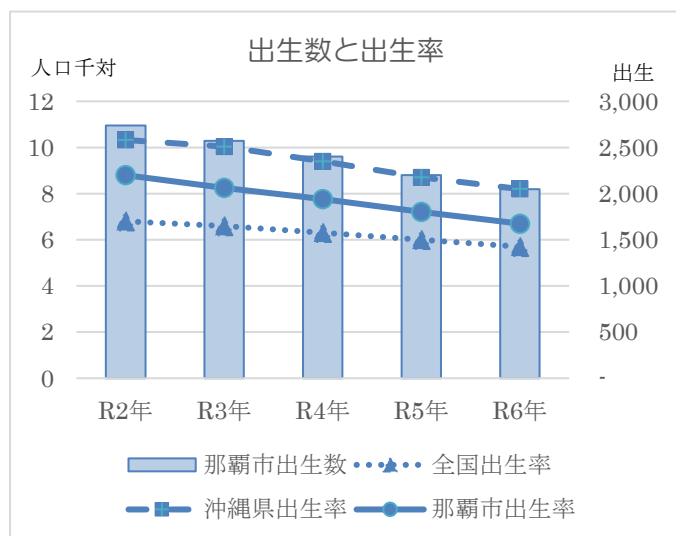
	那覇市	沖縄県	全国
H30年度	88.5	88.1	93.3
R1年度	89	88.8	93.5
R2年度	91.3	90.0	94.6
R3年度	91.2	89.9	94.8
R4年度	89.7	89.0	94.8
R5年度	87.9	87.7	94.4

出典：沖縄県の母子保健より

#### ② 出生の状況

##### <出生率の推移>

出生数、出生率ともに減少経過となっています。



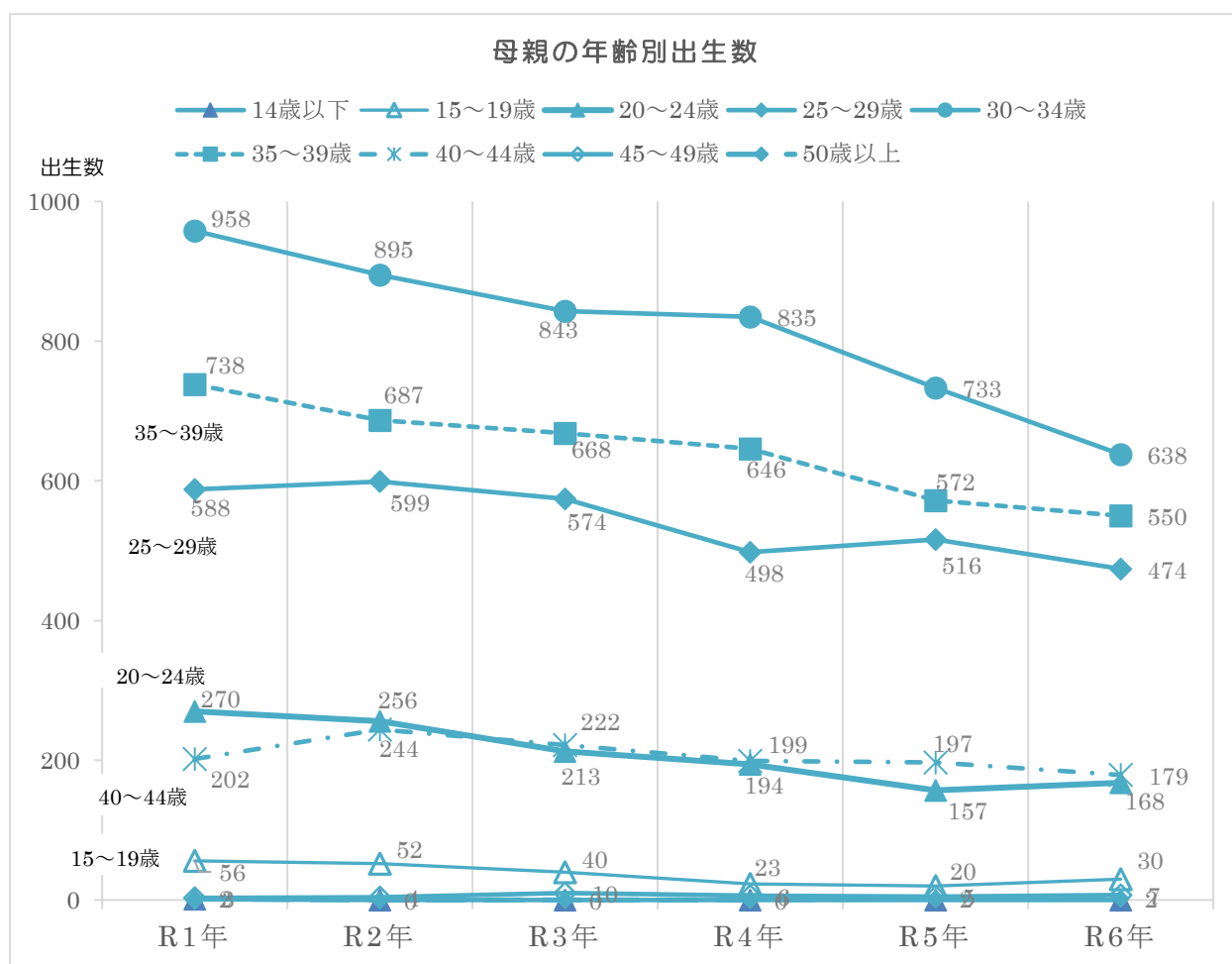
	全国出生率	沖縄県出生率	那覇市出生率	那覇市出生数
R2年	6.8	10.3	8.8	2,737
R3年	6.6	10.0	8.3	2,570
R4年	6.3	9.4	7.8	2,401
R5年	6	8.7	7.2	2,202
R6年	5.7	8.2	6.7	2,048

出典：人口動態統計

### <母親の年齢別出生数(市)>

母親の年齢別出生数をみると、30～34歳での出生が最も多くなっていますが、平成29年以降減少傾向にあります。20～24歳でも徐々に減少しています。

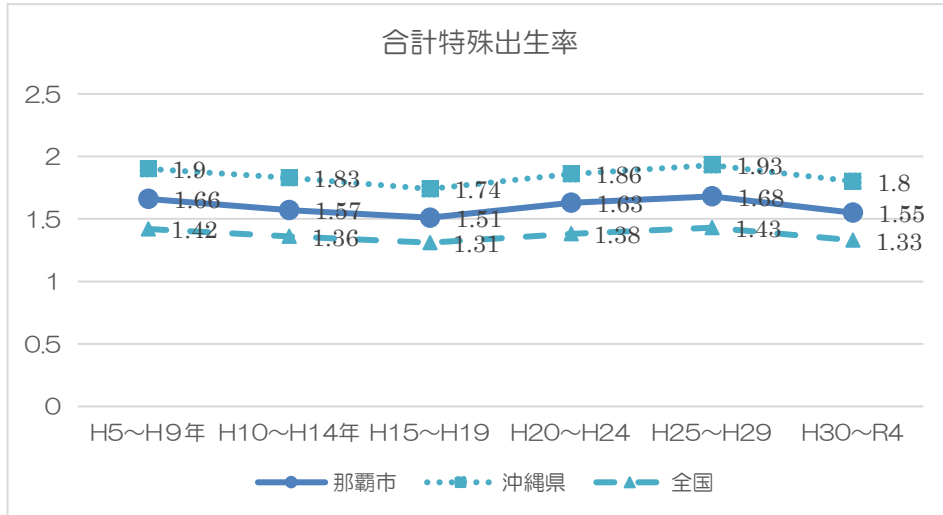
	総数	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
R1年	2,818	1	56	270	588	958	738	202	3	2
R2年	2,737	0	52	256	599	895	687	244	4	0
R3年	2,570	0	40	213	574	843	668	222	10	0
R4年	2,401	0	23	194	498	835	646	199	6	0
R5年	2,202	0	20	157	516	733	572	197	5	2
R6年	2,048	0	30	168	474	638	550	179	7	2



出典 e-Stat:人口動態調査 人口動態統計 確定数 保管統計表 都道府県編 (報告書非掲載表) 出生 (出生数, 都道府県・市区町村・性・母の年齢 (5歳階級) 別)

<合計特殊出生率>

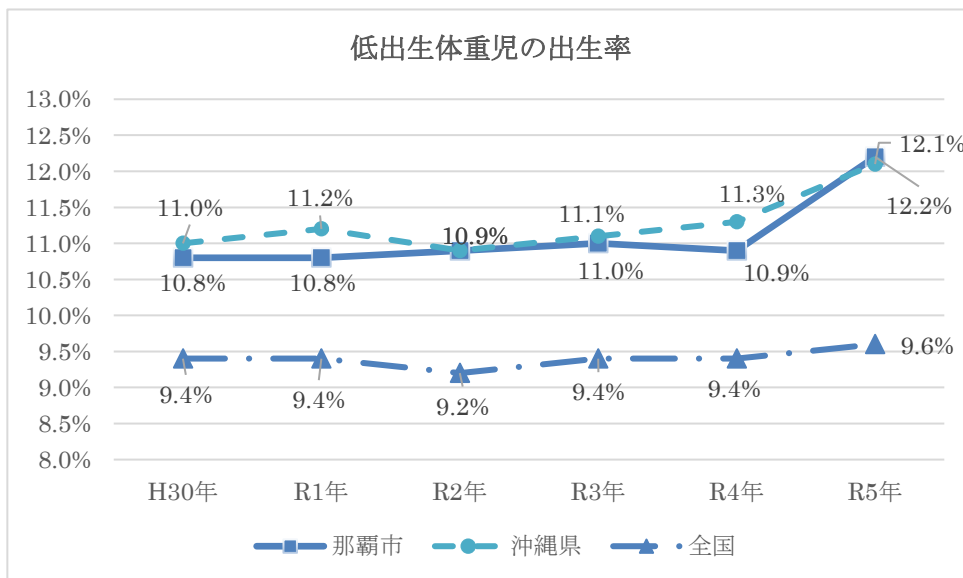
本市の平成30年～令和4年の合計特殊出生率をみると、1.55となっており、平成25年～平成29年の値より0.13減少しています。全国よりは高くなっていますが、沖縄県と比較すると低い値となっています。



出典：人口動態統計特殊報告

<低出生体重児の出生率>

本市の令和5年の全出生数に占める低出生体重児（2500g未満）の出生率は、12.2%となっており、沖縄県と比べて0.1高く、全国と比べて約1.25倍高い状況となっています。



出典：全国：人口動態調査 人口動態統計  
 沖縄県・那覇市：衛生統計年報（人口動態編）

### ③新生児・乳児死亡の状況

死亡率の推移をみると増減を繰り返しており、全国や沖縄県の値を上回る場合もあります。

＜新生児死亡の推移＞率：出産千対

	市実数	那覇市 (率)	沖縄県 (率)	全国 (率)
R1年	2	0.7	0.5	0.9
R2年	4	1.5	1.3	0.8
R3年	-	-	0.8	0.8
R4年	5	2.1	0.5	0.8
R5年	-	-	0.7	0.8
R6年	2	1.0	1.0	0.9

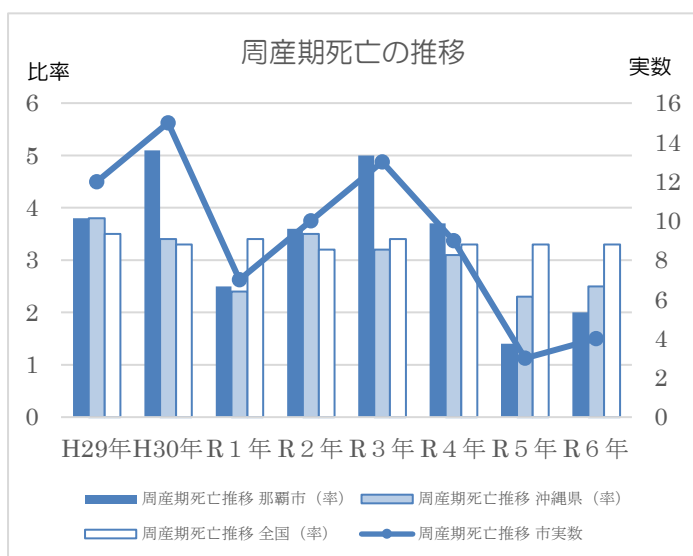
＜乳児死亡の推移＞率：出産千対

	市実数	那覇市 (率)	沖縄県 (率)	全国 (率)
R1年	4	1.4	1.3	1.9
R2年	9	3.3	2.6	1.8
R3年	2	0.8	1.6	1.7
R4年	8	3.3	1.7	1.8
R5年	1	0.5	1.8	1.8
R6年	4	2.0	2.0	1.8

出典：人口動態調査 人口動態統計

### ④周産期死亡・死産の状況

令和6年の周産期死亡率は2%で、4件となっています。増減をしながら推移しています。

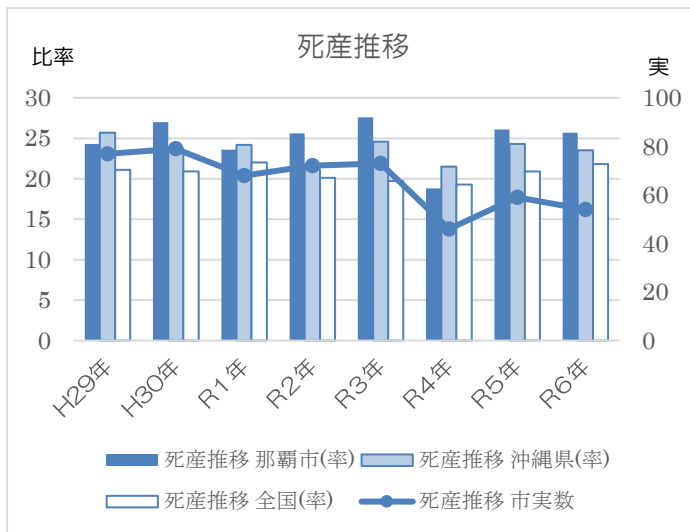


周産期死亡推移

	市実数	那覇市 (率)	沖縄県 (率)	全国 (率)
H29年	12	3.8	3.8	3.5
H30年	15	5.1	3.4	3.3
R1年	7	2.5	2.4	3.4
R2年	10	3.6	3.5	3.2
R3年	13	5	3.2	3.4
R4年	9	3.7	3.1	3.3
R5年	3	1.4	2.3	3.3
R6年	4	2	2.5	3.3

出典：人口動態統計

令和6年の死産率は25.7%で、54件となっており、全国の率より上回っています。



	市実数	那覇市(率)	沖縄県(率)	全国(率)
H29年	77	24.3	25.7	21.1
H30年	79	27	23.7	20.9
R1年	68	23.6	24.2	22
R2年	72	25.6	21.2	20.1
R3年	73	27.6	24.6	19.7
R4年	46	18.8	21.5	19.3
R5年	59	26.1	24.3	20.9
R6年	54	25.7	23.5	21.8

出典：人口動態統計

### ⑤0 歳児の死亡原因

	乳児死亡	死因順位		
		1位	2位	3位
R1年	4	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害(1) その他の先天奇形及び変形(1) 染色体異常,他に分類されないもの(1) その他の外因(1)		
R2年	9	その他の感染症及び寄生虫症(2) 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害(2) その他の症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(2)	腸管感染症(1) その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(1) その他の循環器系の先天奇形(1)	
R3年	2	その他の神経系の疾患(1) その他の循環器系の疾患(1)		
R4年	8	その他の先天奇形及び変形(3)	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害(2)	その他の循環器系の疾患(1) その他の症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(1) その他の特殊目的用コード(1)
R5年	1	その他の症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(1)		

出典：那覇市保健所概要 人口統計

⑥1～4歳の乳幼児死亡原因

	幼児死亡	死因順位	
		1位	2位
R1年	3	その他の心疾患（1） 肺炎（1） その他の不慮の事故（1）	
R2年	2	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（1） その他の先天奇形及び変形（1）	
R3年	2	その他の心疾患（1） 交通事故（1）	
R4年	1	染色体異常、他に分類されないもの（1）	
R5年	3	脳出血（1） 肺炎（1） 喘息（1）	

出典：那覇市保健所概要 人口統計

⑦乳児の不慮の事故について（年度）

沖縄県の乳児の不慮の事故については、令和5年に1件上がっています。

	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
沖縄県	0	1	0	0	1

出典：沖縄県の母子保健 母子保健の主たる統計 年次別、死因別乳児死亡数

⑧那覇市における乳幼児の救急搬送状況

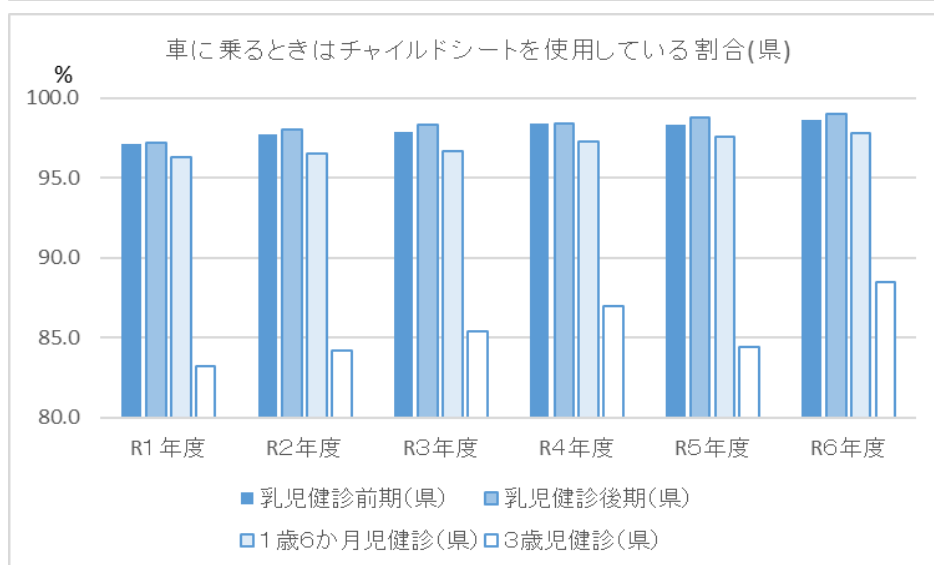
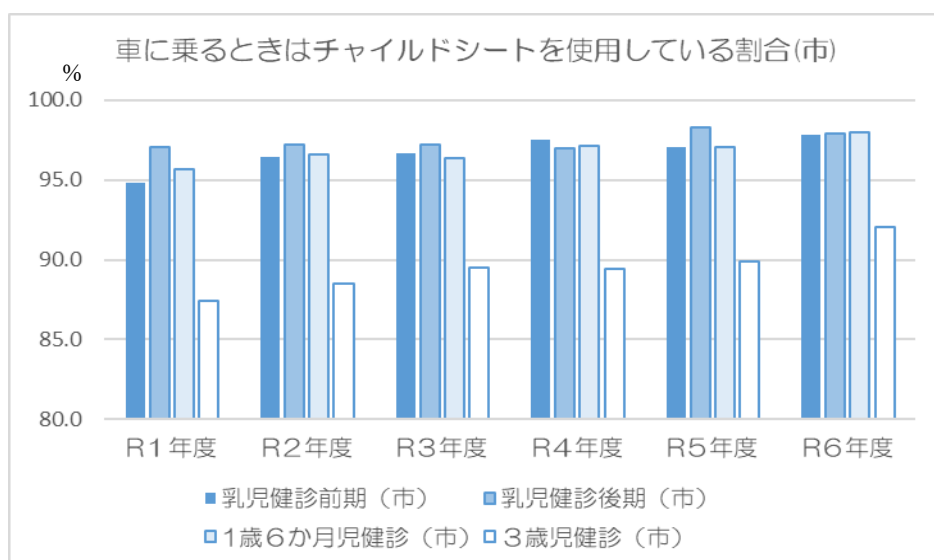
		自然災害	水難事故	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送
R1年	新生児	0	0	0	0	3	68
	乳幼児	1	2	26	112	534	49
R2年	新生児	0	0	0	0	5	72
	乳幼児	0	0	7	95	367	32
R3年	新生児	0	0	0	1	4	65
	乳幼児	0	0	9	117	299	30
R4年	新生児	0	0	0	0	6	61
	乳幼児	0	0	6	88	544	39
R5年	新生児	0	0	0	1	5	53
	乳幼児	0	0	10	124	599	55
R6年	新生児	0	0	0	0	7	63
	乳幼児	0	0	9	93	525	39

出典：消防年報

⑨「車に乗る時はチャイルドシートを使用している」と答えた人の割合

乳児健診・1歳6か月健診・3歳児健診ともにチャイルドシートの使用率はそれぞれ上昇しています。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	94.8	96.4	96.7	97.5	97.1	97.8
乳児前期健診(県)	97.1	97.7	97.9	98.4	98.3	98.6
乳児後期健診(市)	97.1	97.2	97.2	97.0	98.3	97.9
乳児後期健診(県)	97.2	98.0	98.3	98.4	98.8	99.0
1歳6か月健診(市)	95.7	96.6	96.3	97.1	97.0	98.0
1歳6か月健診(県)	96.3	96.5	96.7	97.3	97.6	97.8
3歳児健診(市)	87.4	88.5	89.5	89.4	89.9	92.0
3歳児健診(県)	83.2	84.2	85.4	87.0	84.4	88.5



出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

### ⑩10代の人工妊娠中絶率

沖縄県の10代の人工妊娠中絶率は、令和4年度は、一旦全国を下回りましたが、翌年令和5年度には上回る状況で推移しています。

<10代の人工妊娠中絶率（女子人口千対）>

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
全 国	4.5	3.8	3.3	3.6	3.8
沖縄県	5.2	5.6	3.7	3.4	4.5

出典：衛生行政報告（沖縄県母子保健資料 母子保健の主たる統計）

### ⑪20歳未満の自殺者数について（年）

沖縄県の20歳未満の自殺者数は、数件ずつ発生し、増加しています。

	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
沖縄県	2	2	6	6	10	13

出典：沖縄県人口動態統計 年齢別自殺統計の前年比較

#### (4) 妊婦健診に関する統計

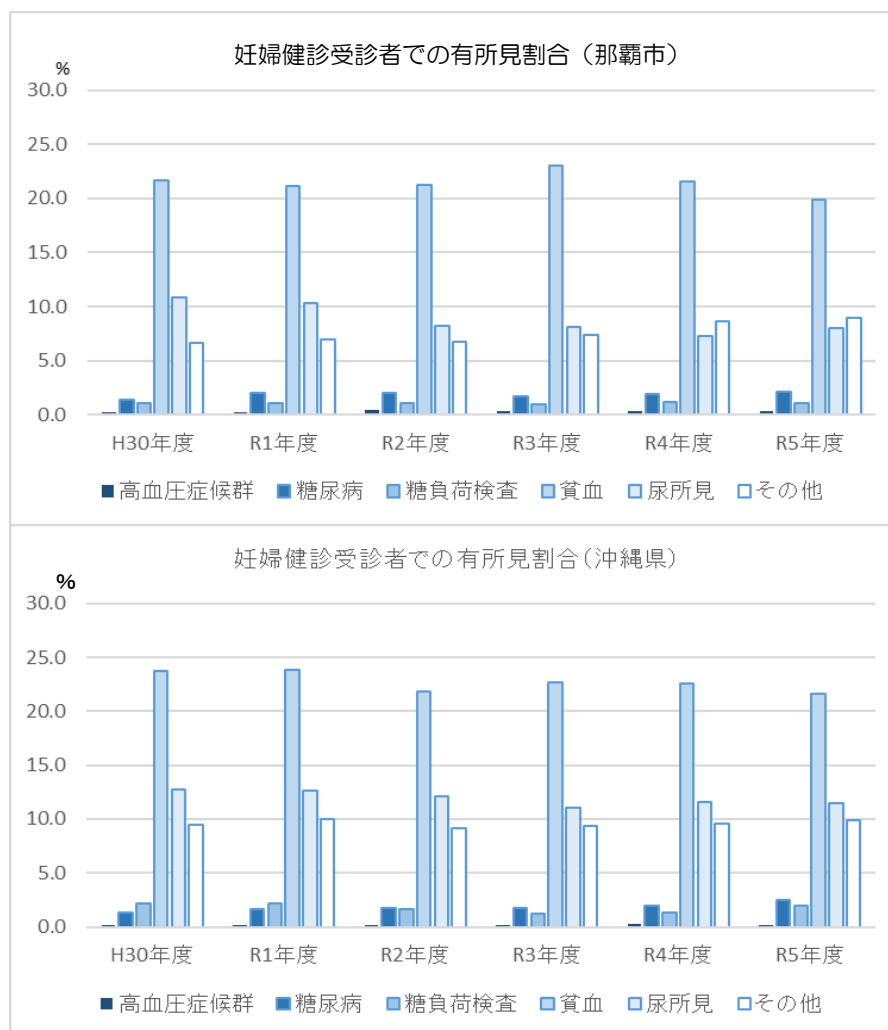
妊婦健診の結果をみると各年ともに約35%が有所見者となっています。有所見者のうち、最も多い項目は「貧血」となっています。

妊婦一般健康診査受診状況（年度）

妊婦一般健康診査受診状況

	受診者数(延数)	異常なし	有所見者数	有所見割合	有所見者数(延)							
					高血圧症候群	糖尿病	糖負荷検査	貧血	尿所見	その他	計	
H30年度	那覇市	13,868	8,811	5,057	36.5	31	189	142	3,004	1,499	924	5,789
	沖縄県	73,486	42,993	30,493	41.5	113	988	1,558	17,407	9,380	6,969	36,415
R1年度	那覇市	13,455	8,629	4,826	35.9	30	265	137	2,846	1,389	935	5,602
	沖縄県	71,200	41,384	29,816	41.9	144	1,197	1,556	16,975	8,976	7,084	35,932
R2年度	那覇市	13,167	8,607	4,560	34.6	51	259	135	2,801	1,080	885	5,211
	沖縄県	71,404	43,399	28,005	39.2	150	1,256	1,173	15,623	8,616	6,497	33,315
R3年度	那覇市	12,133	7,712	4,421	36.4	38	200	121	2,799	981	895	5,034
	沖縄県	67,090	40,761	26,329	39.2	136	1,183	852	15,226	7,414	6,309	31,120
R4年度	那覇市	11,488	7,390	4,098	35.7	39	219	137	2,482	831	986	4,694
	沖縄県	63,156	37,932	25,224	39.9	147	1,262	834	14,240	7,334	6,060	29,877
R5年度	那覇市	10,580	6,877	3,703	35.0	31	218	109	2,099	851	941	4,249
	沖縄県	58,268	35,184	23,084	39.6	121	1,429	1,154	12,577	6,703	5,773	27,757

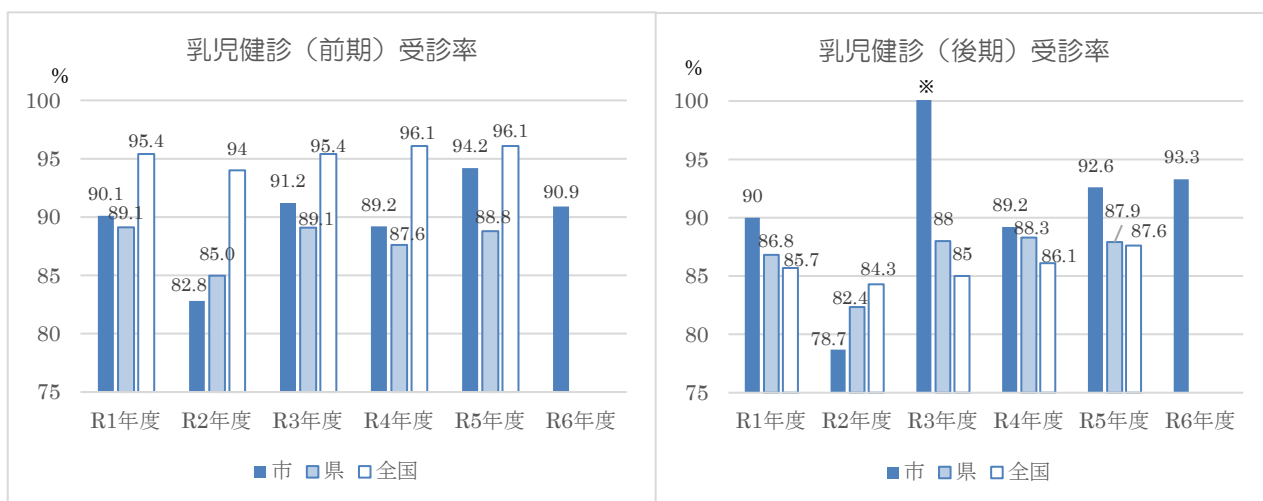
出典：沖縄の母子保健 市町村の母子保健（沖縄県国民健康保険団体連合会資料）



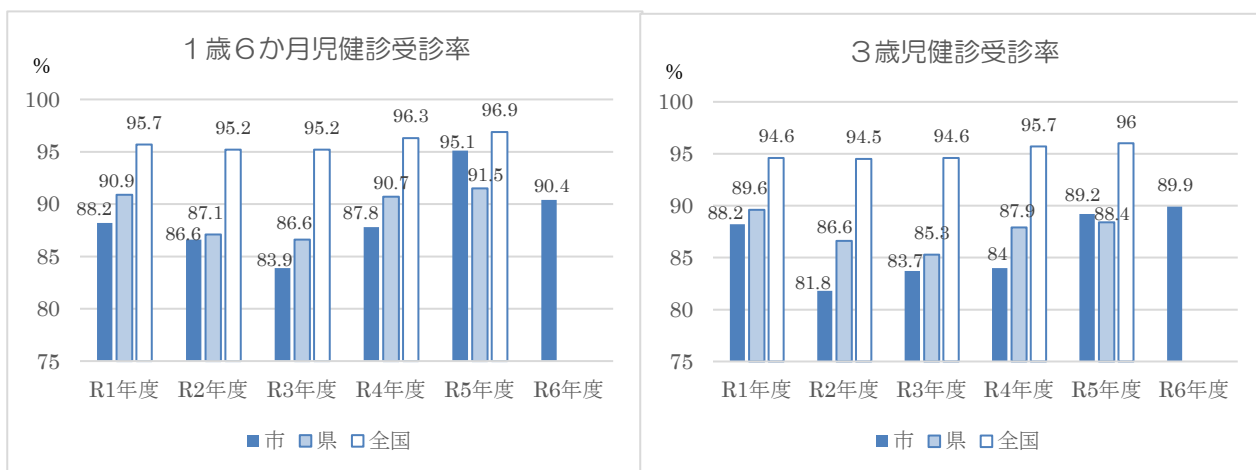
## (5) 乳幼児健診に関する統計

### ①乳幼児健康診査受診状況（年度）

本市の乳幼児健康診査の受診率は、コロナ禍の影響もありましたが、徐々に高くなってきています。令和3年度以降においては沖縄県の平均受診率を上回っている状況にあります。1歳6か月児健診、3歳児健診の受診率が全国より低い状況にあります。



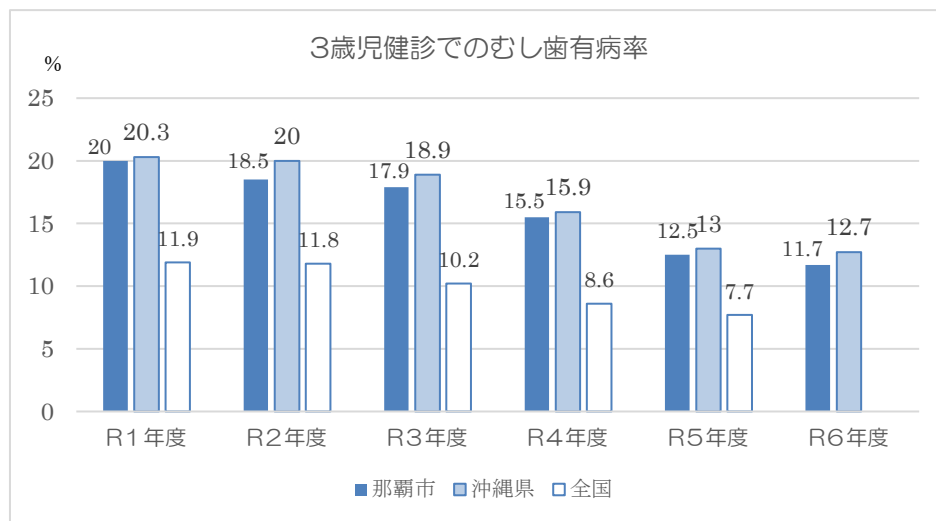
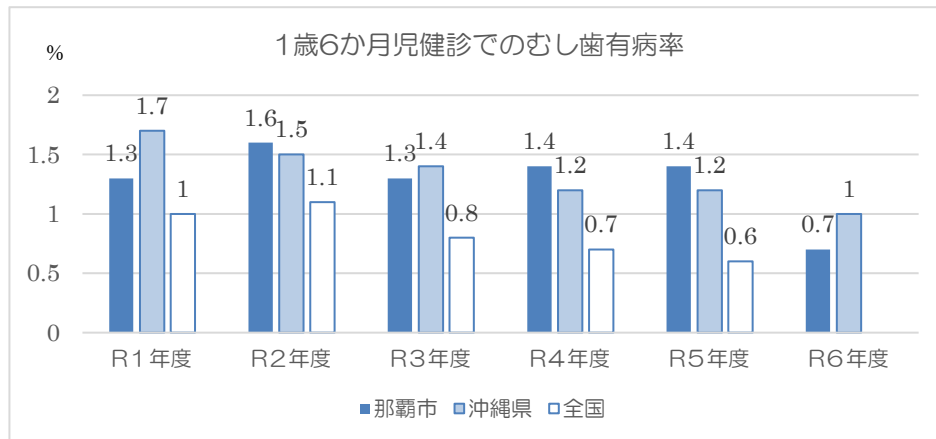
※R3年度の乳児健診（後期）受診者については、R2年度通知分がR3年度に受診した数も含まれるため増加している。（コロナ禍において受診期間を延長したため）



出典：全国：地域保健・健康増進事業報告の概要（地域保健）  
 沖縄県の母子保健  
 e-Stat の地域保健・健康増進事業報告(地域保健編)市区町村表、(地域保健編),第3章 市区町村編 第03表

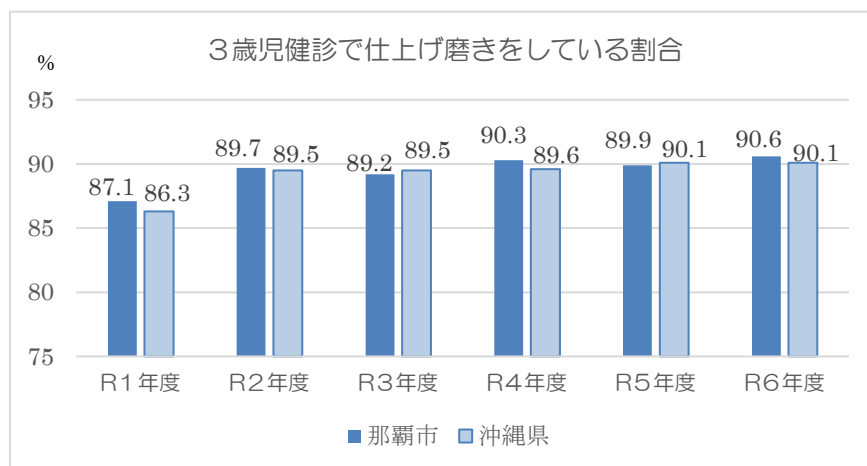
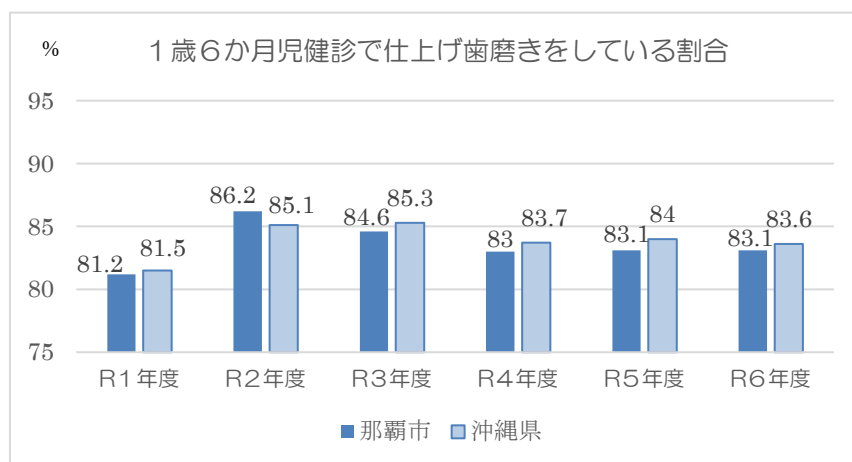
## ②むし歯有病者率

本市の令和6年度の乳幼児歯科健診結果をみると、1歳6か月児健診で0.7%、3歳児健診で11.7%がむし歯となっています。徐々に減少はしているものの、全国と比較すると、高い割合で推移しています。



出典：沖縄県、那覇市のデータについては、乳幼児健康診査報告書  
 全国のデータについては、国立保健医療科学院 資料

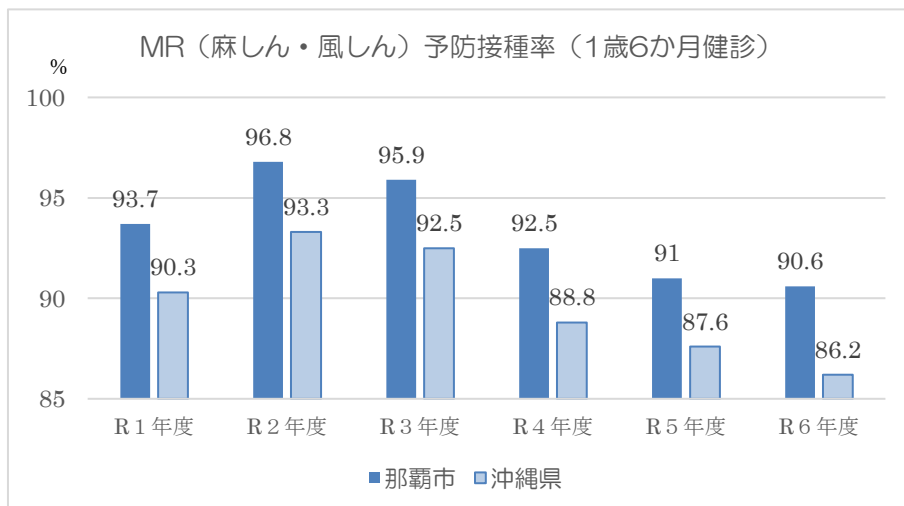
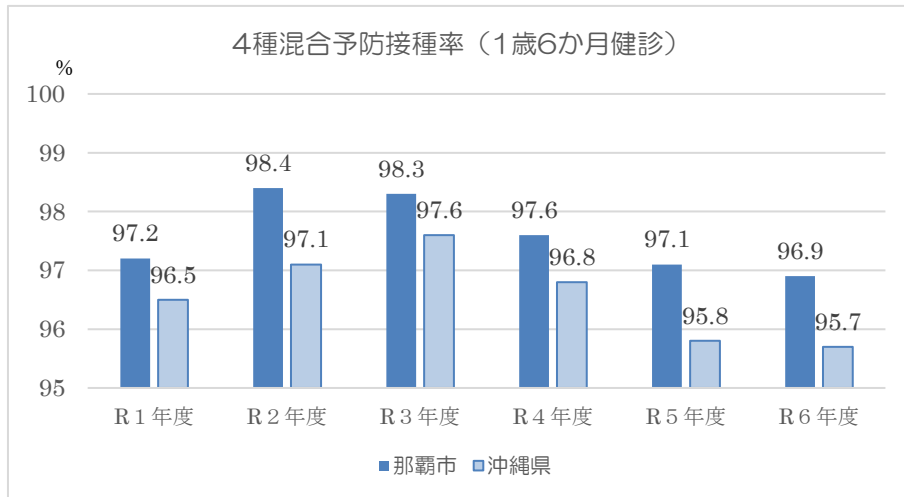
仕上げ歯磨きをしている割合は、令和6年度は1歳6か月児健診で83.1%、3歳児健診90.6%となっています。



出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

### ③予防接種の実施状況（1歳6か月健診）

4種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）予防接種については、集団免疫効果が期待できる接種率95%を超える接種率となっています。一方、MR（麻しん・風しん混合ワクチン）の予防接種については95%に達していない状況にあります。



出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

#### ④ 3歳児健診における肥満の割合（年度）

令和6年度の3歳児健診での肥満について、男児は4.5%、女児は6.6%台となっています。

##### 3歳児健診における肥満児の割合

		男					女				
		太り気味 +15%≤ ~ <20%	やや太り過ぎ +20%≤ ~ <30%	太り過ぎ +30%≤	肥満計	BMI18.0≤	太り気味 +15%≤ ~ <20%	やや太り過ぎ +20%≤ ~ <30%	太り過ぎ +30%≤	肥満計	BMI18.0≤
		R1年度	那覇市	3.1	0.9	0.2	4.2	3.4	3.1	1.4	0.4
	沖縄県	2.5	0.9	0.3	3.7	2.9	3.3	1.2	0.2	4.7	2.9
R2年度	那覇市	2.1	0.5	0.3	2.9	2.2	3.3	1.6	-	4.9	3.1
	沖縄県	2.6	1.2	0.3	4	3.1	3.5	1.6	0.3	5.4	3.4
R3年度	那覇市	2	0.4	0.2	2.6	2.2	1.7	0.9	0.3	2.9	1.9
	沖縄県	2.4	1	0.2	3.7	3	3.1	1.3	0.3	4.8	3
R4年度	那覇市	1.7	1	0.2	3	2.3	2.6	1.8	0.2	4.6	3.3
	沖縄県	2.6	0.9	0.2	3.8	2.9	3.3	1.6	0.2	5.1	3.4
R5年度	那覇市	3.6	1.3	0.3	5	3.8	3	1.3	0.5	4.7	3.4
	沖縄県	2.7	0.9	0.2	3.7	3	3.3	1.2	0.2	4.7	2.8
R6年度	那覇市	3.9	0.9	0.1	4.5	3.2	4.4	1.9	0.4	6.6	3.5
	沖縄県	3.4	1.1	0.2	4.6	2.9	4	1.8	0.4	6.1	3.3

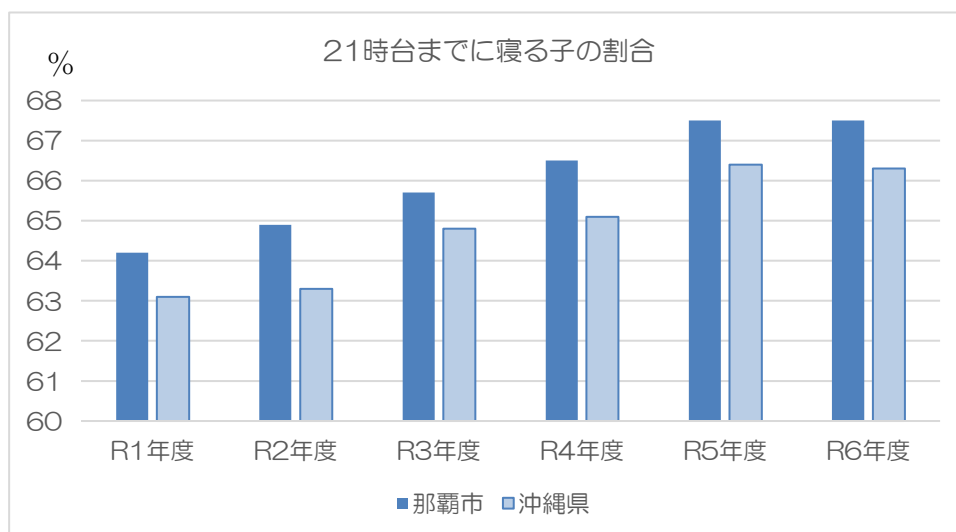
出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

#### ⑤ 3歳児健診で21時台までに寝る子の割合

3歳児健診の21時台までに寝る子どもは、令和6年度67.5%となり徐々に増えています。

##### 3歳児健診で21時台までに寝る児

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
那覇市	63.2	64.9	65.7	66.5	67.5	67.5
沖縄県	63.0	63.3	64.8	65.1	66.4	66.3



出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

## ⑥乳児後期健診における血色素値 11.0g/dl 未満の割合

貧血の目安である血色素値 11.0g/dl 未満の乳児は、令和 6 年度で 13.8%となって徐々に減少しています。

	10.0未満			10.0~10.9		
	沖縄県	那覇市		沖縄県	那覇市	
	率(%)	率(%)	実数	率(%)	率(%)	実数
R1年度	3.8	3.7	92	16.4	16.1	412
R2年度	2.3	0.9※	21※	10.3	4※	94※
R3年度	2	0.2※	5※	8.6	0.3※	7※
R4年度	2.5	2.9	68	11.7	15.3	357
R5年度	2.4	2.4	54	11.4	10.8	239
R6年度	2.2	2.9	58	10.5	10.9	219

※個別健診移行のため採血検査の実施ができない医療機関が多かったため  
出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

## ⑦かかりつけ医がいる割合について

沖縄県より、高い割合になっており、市内の医療機関の数が多い影響と考えられます。

### かかりつけ小児科医

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診（市）	67.8	70	65	63.2	58.6	59.4
乳児前期健診（県）	64.9	65.7	64.3	63.5	62.3	61.7
乳児後期健診（市）	87.9	82.8	83.7	82.8	80.9	80.8
乳児後期健診（県）	78.6	75.9	76.9	77	77.3	77
1歳6か月児健診（市）	93.3	93	92.2	91.7	91.8	90.5
1歳6か月児健診（県）	86.9	86.4	86.5	85.9	86.3	85.6
3歳児健診（市）	92.4	91.9	90.5	91.1	89.9	90.5
3歳児健診（県）	85.9	84.4	85	85.4	85	84.9

出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

⑧子育てについて

「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者」は、各健診とも経年では微増であるが、こどもの月齢がすすむに応じて減少している。「育てにくさを感じたときに対処できる親の割合」は横ばいで、「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は沖縄県に比べて低く、「体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てができる親の割合」は、乳児期は約96%で、月齢がすすむにつれ、減少している状況です。

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	91.9	94.4	93.5	93.8	93.3	93.8
乳児前期健診(県)	93	94.2	93.6	94	87.7	99.4
乳児後期健診(市)	87.8	91.9	91.7	90.7	90.2	91.8
乳児後期健診(県)	89.3	91.3	91.5	91.4	91.6	92.1
1歳6か月児健診(市)	81.9	84.7	85.1	84.1	84.3	85.4
1歳6か月児健診(県)	83.4	86.2	86.6	86.6	86.1	86.5
3歳児健診(市)	76.1	78.8	78.3	78.7	79.5	81.1
3歳児健診(県)	77.8	80.8	81.3	82	81	82.4

育てにくさを感じたときに対処できる親の割合

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	82.3	84.8	87.3	87	87.9	83.5
乳児前期健診(県)	87.3	87.4	86	87	84.8	84
乳児後期健診(市)	86.5	89.1	88.4	80.7	81.7	85.1
乳児後期健診(県)	87	88.9	87.6	84.6	85	85.4
1歳6か月児健診(市)	83	85.8	81.8	80.6	80.6	82
1歳6か月児健診(県)	86.9	87.3	85.2	84.3	82	82.4
3歳児健診(市)	85.8	86	83	84.3	83	82.7
3歳児健診(県)	87.3	87.9	85.7	85.5	84.6	84.1

この地域で子育てをしたいと思う親の割合

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	68.4	69.8	68.6	66.8	66.9	70.1
乳児前期健診(県)	68.9	72.2	71.4	69	68.6	71.3
乳児後期健診(市)	68.4	70	67	63.4	66.4	67.9
乳児後期健診(県)	67.3	70.2	70.3	67.2	67.3	69.1
1歳6か月児健診(市)	72.1	72.4	72.2	71.4	70.9	70.8
1歳6か月児健診(県)	69.6	71.8	72.2	72.4	70.9	71.1
3歳児健診(市)	73.2	74.5	70.8	71.5	70	71.6
3歳児健診(県)	71.5	73.8	72.9	72.9	72.6	73.6

乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	94.4	95.9	95.9	96.9	96.7	96.5
乳児前期健診(県)	94.7	95.3	96.2	96.4	96.6	96.5
乳児後期健診(市)	91.2	92.1	93.9	93.9	94.6	95.8
乳児後期健診(県)	92.4	93.3	93.6	94.7	95	95.1
1歳6か月児健診(市)	84.5	83.3	84.4	86.7	87.7	88.7
1歳6か月児健診(県)	84.5	85.3	86.6	88	89.2	89.8
3歳児健診(市)	68.7	69.6	74.2	73.5	74.9	74.9
3歳児健診(県)	70	72.1	74.7	75.8	76.3	77.1

出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書 厚労省追加問診

「子育てに関して不安がある」保護者や「身近に相談できる人がいない」保護者が沖縄県に比べて多い割合です。また「サポートしてくれる人がいない」保護者の割合についても令和6年度においては、6.3%～8.6%となっております。

子育てに不安がある

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児健診(市)	2.9	2.8	2.5	3.1	2.4	2.8
乳児健診(県)	2.2	2.4	2.2	2.2	2.2	2.1
1歳6か月児健診(市)	2.3	2.6	3	2.9	2.7	1.8
1歳6か月児健診(県)	2	2	2.2	2.1	2.3	1.9
3歳児健診(市)	3.1	2.5	2.7	3.7	3.8	3.0
3歳児健診(県)	2.6	2.4	2.6	2.7	2.9	2.8

相談できる人がいない

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児健診(市)	3.8	4.8	4.3	2.9	3.1	3.2
乳児健診(県)	3.3	3.4	3.1	3	2.9	2.8
1歳6か月児健診(市)	5	4.2	4.1	4.4	4.4	3.8
1歳6か月児健診(県)	3.7	3.3	3.9	3.9	3.4	3.4
3歳児健診(市)	3.1	3.9	4.2	4.8	4.9	4.5
3歳児健診(県)	3.5	3.4	3.8	3.9	3.7	3.8

子育てをサポートしてくれる人がいない

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児健診(市)	7.8	8.4	7.1	7.3	6.3	6.3
乳児健診(県)	6.1	6.6	5.9	6	5.5	5.8
1歳6か月児健診(市)	10.5	9.1	9.7	8.2	8.8	8.6
1歳6か月児健診(県)	7.8	7	7.5	7.3	6.7	7
3歳児健診(市)	9.5	7.8	9.6	9.7	10	8.1
3歳児健診(県)	7.7	7.2	7.2	7.5	7.6	7.3

出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

### ⑨保護者の喫煙について

妊娠中の母親の喫煙については、減少傾向となっています。また、子育て中の保護者の喫煙について母親は約 4.8～6%、父親は約 30.8～31.5%となっています。

#### ア 妊娠中の喫煙状況

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
母：乳児前期健診(市)	2.4	2.1	2.0	1.8	1.9	1.4
母：乳児前期健診(県)	2.5	2.3	2.1	2.0	2.2	1.8
父：乳児前期健診(市)	36.7	34.5	33.7	30.9	30.4	32.2
父：乳児前期健診(県)	38.4	36.8	35.7	33.4	33.3	34.8

#### イ 母親の喫煙率

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	3.7	3.9	4.1	4.4	5.4	4.8
乳児前期健診(県)	4.5	4.8	4.6	4.8	5.1	5.2
乳児後期健診(市)	5.4	4.1	4.6	5.9	6.0	6.0
乳児後期健診(県)	5.3	5.0	4.9	5.2	5.8	6.0
1歳6か月児健診(市)	6.2	5.7	4.8	5.7	6.1	6.0
1歳6か月児健診(県)	6.2	6.5	5.7	5.9	5.9	7.0
3歳児健診(市)	7.3	6.4	6.6	6.6	6.2	6.0
3歳児健診(県)	7.2	7.0	6.6	7.1	6.7	6.8

#### ウ 父親の喫煙率

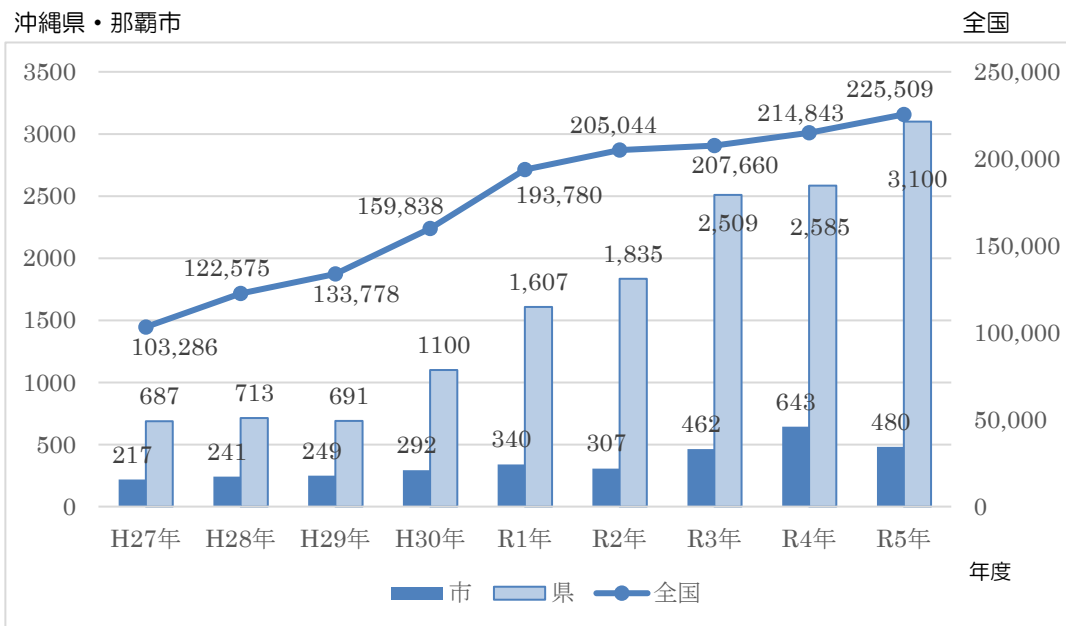
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
乳児前期健診(市)	36.5	33.5	33.1	30.3	31.3	31.5
乳児前期健診(県)	37.8	36	35.4	33.4	33.8	34.9
乳児後期健診(市)	35.0	32.7	33.4	30.9	32.0	31.3
乳児後期健診(県)	36.7	36.0	34.4	34.2	33.9	34.3
1歳6か月児健診(市)	35.7	31.7	31.4	31.9	30.0	30.8
1歳6か月児健診(県)	37.4	34.7	34.8	34.0	33.5	32.9
3歳児健診(市)	35.2	31.2	31.3	30.6	29.6	31.5
3歳児健診(県)	37.1	34.9	34.0	33.5	33.9	33.4

出典：沖縄県小児保健協会 乳幼児健康診査報告書

## (6) 児童虐待に関する統計

### ①虐待相談件数に関する統計

令和5年度中に、本市子育て支援室が児童虐待相談として対応した件数は480件となっています。沖縄県・全国は増加しています。



出典：全国、沖縄県のデータについては、厚生労働省発表「児童相談所での児童虐待相談対応件数」（平成25年度の全国・県は速報値、平成22年度の全国の件数は福島県を除く集計）  
 那覇市のデータについては、那覇市子育て支援室

## 用語と比率の解説

乳児死亡：生後 1 年未満の死亡

新生児死亡：生後 4 週（28 日）未満の死亡

周産期死亡：妊娠満 22 週以降の死産に早期新生児死亡（生後 1 週間（7 日）未満の死亡）をあわせ  
たもの

死産：妊娠満 12 週以後の死児の出産

合計特殊出生率：15 歳から 49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女子が仮に  
その年次の年齢別出生率で、一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出産数}}{\text{10月1日現在年齢別女子人口}} \right\} \text{15歳から49歳までの合計}$$

$$\text{低出生体重児率} = \frac{\text{年間2,500g未満出生数}}{\text{年間出生数（体重不詳を除く）}} \times 100$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{妊産婦死亡率} = \frac{\text{年間妊産婦死亡数}}{\text{年間出産数（出生数+死産数）（又は年間出生数）}} \times 100,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数（自然+人工）}}{\text{年間出産数（出生数+死産数）}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

## 2. 計画策定過程

日時	会議名	参加
令和7年 5月20日	第1回「健やか親子なは(成育医療等計画)」計画策定検討委員会	関係課長（名簿別表2参照）
7月17日	令和7年度 産婦人科連絡会議	市内・隣接する産婦人科師長
8月5日	令和7年度 思春期連携会議	市内小学校、中学校、高校の養護教諭（養護教諭研究会）・沖縄県助産師会長・若年妊婦産婦の居場所担当・学校教育課・教育相談課
8月25日	第1回「健やか親子なは(成育医療等計画)」計画策定検討分科会	関係課長（名簿別表3参照）
10月9日	第1回母子保健推進協議会（諮問）	名簿別表1参照
11月7日	第2回「健やか親子なは(成育医療等計画)」計画策定検討分科会	関係課分科会委員（名簿別表参照）
11月25日～ 12月19日	パブリックコメント	
令和8年 1月9日	第2回「健やか親子なは(成育医療等計画)」計画策定検討委員会	関係課長（名簿別表2参照）
1月29日	第2回母子保健推進協議会	名簿別表1参照

### 3. 那覇市母子保健推進協議会規則など

#### ○那覇市母子保健推進協議会規則

平成15年7月2日

規則第63号

改正 平成26年2月3日規則第1号

平成27年9月9日規則第35号

平成28年3月29日規則第17号

平成29年11月13日規則第26号

(趣旨)

第1条 この規則は、那覇市附属機関の設置に関する条例(昭和52年那覇市条例第2号)第3条の規定に基づき、那覇市母子保健推進協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(担当事務)

第2条 協議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 母子保健計画の策定及び推進に関すること。
- (2) 母子保健事業における保健、医療、福祉、教育等関係施策との連携に関すること。
- (3) その他母子保健の推進に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 本市を除く関係行政機関の職員
- (3) 関係団体の役員及び職員
- (4) 市民

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選でこれを定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 前項の場合においては、会長は、委員として議決に加わる権利を有しない。

(部会)

第7条 特定の事項を調査審議させるため、必要に応じ、協議会に部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、協議会の委員のうちから会長が指名する。

3 第3条第1項の規定にかかわらず、特に専門的な事項を調査審議させるため必要があると認めるときは、部会に臨時委員を置くことができる。

4 臨時委員は、特に専門的な事項について学識経験を有する者の中から市長が委嘱する。

5 臨時委員の任期は、前項の事項に係る調査審議が終了するまでの間とする。

6 協議会においてあらかじめ議決を経た諮問事項については、部会の決議をもって協議会の決議とすることができる。

7 前2条、次条及び第9条の規定は、部会について準用する。

(関係者の出席)

第8条 協議会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成26年2月3日規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成27年9月9日規則第35号)

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成28年3月29日規則第17号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

付 則(平成29年11月13日規則第26号)

この規則は、公布の日から施行する。

■名簿 別表1

	代表区分	氏名	所属/役職
1	学識経験者	當山 裕子	琉球大学医学部保健学科 地域看護学 准教授
2	関係団体 (小児科医)	松岡 孝	沖縄県立南部医療センター・こども医療 センター 小児科 総合診療科副部長
3	関係団体 (産婦人科医)	渡嘉敷 みどり	沖縄県産婦人科医会理事
4	関係団体 (歯科医師会)	井上 博文	(公社)南部地区歯科医師会会長
5	関係行政機関	久場 香代子	沖縄県 子育て支援課 母子保健班 班長
6	関係団体 (助産師会)	川満 恵子	沖縄県助産師会会長
7	関係団体 (母子保健推進員)	真栄田 順子	那覇市母子保健推進員協議会(うりずん 会) 会長
8	関係団体 (子育て支援)	高野 大秋	那覇市社会福祉協議会 那覇市ファミリーサポートセンター長
9	市民代表	續 洋子	NPO 法人 1 万人井戸端会議副代表

○「健やか親子なは(成育医療等計画)」計画策定検討委員会設置要綱

令和7年5月13日健康部長決裁

(目的)

第1条 健やか親子なは(成育医療等計画)(以下「計画」という。)の策定等に関して必要な事項を検討するため、健やか親子なは(成育医療等計画)計画策定検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 計画策定に関する協議等に関すること。
- (2) その他計画の策定に関し、必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員長、副委員長及び委員で組織する。

2 委員長に健康部副部長、副委員長に地域保健課長、委員に保健総務課長、健康増進課長、こどもえがお相談課長、こども教育保育課長、障がい福祉課長教育相談課長、学校教育課長をもって組織する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(招集)

第5条 検討委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

(分科会)

第6条 検討委員会の効率的運営を図るため、検討委員会の下に分科会を置く。

2 分科会は次の各号に掲げる分野とする。

- (1) 周産期(妊娠期から生後1週間未満)
- (2) 乳幼児期(生後から小学校就学前まで)
- (3) 学童期・思春期(小学生から成人前まで)

3 分科会は、検討委員会から指示された事項について調査及び検討し、その結果を検討委員会に報告する。

4 分科会長は、地域保健課長、地域保健課担当副参事、及び地域保健課主幹とし、委員に別表第1に掲げる担当職員をもってあてる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長及び分科会長は、必要があると認めるときは、関係部課の職員に検討委員会若しくは分科会への出席又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 検討委員会の庶務は、地域保健課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に必要な事項は、委員長が定める。

付 則

- 1 この要綱は、令和7年5月13日から施行する。
- 2 「健やか親子なは」計画策定作業部会設置要綱(平成26年10月17日施行)は廃止する。

別表第1 分科会委員

分科会名	担当職員
周産期	母子保健相談訪問指導事業担当保健師及び事務局保健師(地域保健課) 歯科医師・栄養士(健康増進課) 親子健康手帳担当保健師・産後ケア事業担当保健師(こどもえがお相談課)
乳幼児期	乳幼児健診担当保健師・すくすく教室担当保健師・心理士・栄養士及び事務局保健師(地域保健課) 予防接種担当(健康増進課) こども発達支援センター相談担当(こども教育保育課) 子どもワーキング担当(障がい福祉課) 要対協支援担当(こどもえがお相談課)
学童期 ・ 思春期	思春期健康教育事業担当保健師・自殺対策担当保健師及び事務局保健師(地域保健課) 感染症担当保健師(保健総務課) 健康なは21担当保健師(健康増進課) 教育相談担当(教育相談課) 学校保健担当(学校教育課)

■名簿

検討委員 （別表 2）

	所属	役職	氏名
1	健康部 （委員長）	副部長	平良 有司
2	地域保健課（副委員長）	課長	前里 万里子
3	こどもえがお相談課	課長	山城 忠信
4	こども教育保育課	課長	當間 一也
5	保健総務課	課長	濱川 毅
6	健康増進課	課長	石底 早弥香
7	障がい福祉課	課長	泉 隆志
8	教育相談課	課長	上江洲 寛
9	学校教育課	課長	吉村 雅也

検討分科会委員 （別表 3）

	No	所属	氏名
周産期	1	こどもえがお相談課	神谷 ひかる
	2	こどもえがお相談課	玉城 沢子
	3	健康増進課	嘉手納 一彦
	4	健康増進課	桑江 なお
	5	地域保健課	金城 なつ季
		地域保健課（事務局）	前里 万里子
		地域保健課（事務局）	當山 あさひ
		地域保健課（事務局）	間仁田 あかり
乳幼児期	1	こどもえがお相談課	玉木 宏尚
	2	こども教育保育課	大城 美智留
	3	こども教育保育課	儀間 健一
	4	障がい福祉課	岩田 明日香
	5	健康増進課	米須 利恵子
	6	地域保健課	金城 貴美子
	7	地域保健課	大嶺 理子
	8	地域保健課	金城 織江
	9	地域保健課	宮里 玲子
		地域保健課（事務局）	崎 辰子
		地域保健課（事務局）	伊志嶺 真希子
		地域保健課（事務局）	大田 咲希

学童期・ 思春期	1	学校教育課	砂川 龍馬
	2	教育相談課	仲栄真 美奈子
	3	健康増進課	砂川 ゆうな
	4	保健総務課	宮城 夕菜
	5	地域保健課	上間 夏乃
	6	地域保健課	具志堅 千晴
		地域保健課（事務局）	中村 裕子
		地域保健課（事務局）	伊藤 千秋
		地域保健課（事務局）	米須 理乃
		地域保健課（事務局）	安田 弥耶子

